



志真志小学校 学校だより

『志真志っ子』 令和6年6月25日号

校長 田中 志郎



梅雨が明けたとたん、厳しい暑さが続いています。学校では、雷の心配から熱中症の心配に変わりました。運動中や登下校中の熱中症対策は、学校でもお話しをしますが、ご家庭でも、水筒の準備や涼しい服を着るなど、暑さ対策への協力をお願いいたします。

1 平和学習 5・6年の様子



↑ 5年生の平和学習の様子

6/21(金)5校時、琉球大学山口教授をお迎えして、沖縄戦について考える平和学習を行いました。4年生の時に志真志・我如古の戦争の様子を聞いている5年児童は、資料や体験者の証言からさらに詳しく宜野湾市の戦争について説明してもらいました。



↑ 6年生の平和学習の様子

6校時は、前日の平和資料館で学んだことをグループで共有し、「沖縄戦はなぜ起きたのか」ということについて、グループで話し合いました。深い話し合いができていたグループがたくさんあり、関心しました。



↑ 今朝は音楽朝会を行いました。沖縄戦をテーマにした「HEIWAの鐘」という曲を歌いました。歌を通して、平和を願う心が育つことを期待します。

2 熱中症の体育授業の本校判断基準

熱中症については、日本気象協会のサイトから宜野湾市のWBGT値と本校で用意した熱中症計測器の2つの数値をもとに体育実施の可否を以下の通り、判断します。

- 1 宜野湾市の暑さ指数（WBGT）が33を超えたら、体育学習は中止（運動場、体育館、プール、全て）。
- 2 宜野湾市の暑さ指数（WBGT）が28～33未満の場合、体育学習は、活動を短時間でを行い、軽い運動にとどめる。また、10分ごとに休憩や水分補給を行ったり、日陰で休んだりしながら学習する。児童の状態や学級によっては、中止も検討する。